

こんにちは

日本共産党

日本共産党
横浜市議員団
2010.03.03号

横浜市中区港町1-1(市庁舎内)
電話 671-3032 FAX 641-7100
E-mail: info@jcp-yokohama.com
http://www.jcp-yokohama.com/

横浜市議団です

敬老パス利用者負担増やめよ

予算代表質問で大貫議員が市長迫及

日本共産党の大貫憲夫議員は2月24日、2010年度予算についての代表質問で、敬老特別乗車証(敬老パス)について市長の見解を質しました。

市は、敬老パスを、高齢者の社会参加を促し、健康年齢を維持するためのものと位置づける一方で、厳しい財政状況下に加え、要介護高齢者施策の財源確保を理由に、敬老パスの見直しが必要だとしています。

大貫議員は、元気な老後をサポートする上で、敬老パスと要介護高齢者施策は車の両輪だと主張。敬老パスの市費負担額が他都市と比べて高くないことを示し、横浜環状道路など大型公共事業の凍結・中止を含めて、敬老パスのあり方を考えるべきだと述べました。

また、2月3日の市議会健康福祉・病院経営委員会が、市提案のスケジュール案について、



質問する大貫憲夫議員
11月24日横浜市議会議場

余りにも性急すぎるなどとして、全会一致で撤回要求したことにふれ、市議会の意思を無視して予定通り敬老パスの見直しを強行する考えなのか、林文子市長の見解を問いました。

林市長は、大型公共事業を「将来の横浜を元気にするための投資」だとして、厳しい財政状況でも継続して取り組んでいると答弁。負担増については、「厳しい財政状況にあり、議会と相談しながら、2011年11月の実施に向けて取り組んでいきたい」と述べました。

特別養護老人ホーム整備急げ

予算関連で中島議員が市長に質問

横浜市議会で2月25日、日本共産党の中島文雄議員が予算関連質問を行いました。

市は特別養護老人ホームの待機者を昨年10月現在で3487人としていますが、これは要介護度3以上の自宅での待機者の数です。中島議員は、実態に即した待機者数を算定し、整備計画を策定すべきだと要求し、これまで毎年900床整備しながら待機者は減少しておらず、2011年度から整備数を年300床に減らす計画は、実態を無視し

たものだと批判。「次期5か年計画では、今まで通り年900床を整備すべき」と訴えました。

林市長は、「多くの方が入所の申し込みをされていることは承知している」としながらも、特養ホームの整備目標の見直しには応じませんでした。

また中島議員は、国民健康保険料滞納世帯に対して資格証明書発行が3万6680世帯(昨年10月1日現在)に上ることをあげ、国民健康保険は市民の「命綱」として、資格証明書を極力発行しないように求めるとともに、一般会計から国保会計への繰り入れを増やして、保険料の負担を軽減すべきだと訴えました。

林市長は、国保の保険料負担の公平性を確保する観点から資格証明書を発行していると改善の姿勢を示さず、いまでも法定の繰入金のほか、前年度を5億円上回る約92億円を保険料の負担緩和にあてていると答えました。



質問する中島文雄議員
11月25日横浜市議会議場